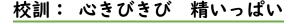
二里小学校 学校だより





せんだん

【学校教育目標】自ら気づき、考え、判断し、 主体的に行動する児童の育成

第6号 令和7年8月25日 校長 松尾信広

言葉のホ

☞ 本日始業式を行い、いよいよ2学期がスタートしました!

今朝、久しぶりの再会に**わくわく**しながら、子ども達を藤の木の前で出迎えました。玄関で待つ子ども達と7時28分に挨拶を交わした後は、ほかの子ども達も続々と元気に登校してくれました。髪型が変わったり、日焼けをしたり、少し体が大きくなったりと、変化や成長を感じてとても嬉しくなりました。2学期は運動会があります。9月11日の代表委員会を皮切りに、学校全体が動き始めます。もちろん、日頃の生活や学習も大切に進めながら、充実した教育活動を行ってまいりたいと思いますので、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

☞「挨拶」と「優しい言葉遣い」でハッピーサイクルを!

私の親は2人で自営業をやっていまして、親がいないときは私が会社の電話をとっていました。その関係もあって、小学2年生の頃から挨拶や言葉遣い(特に敬語)はかなり鍛えてもらいました。今考えると、有難いことだなとつくづく思います。挨拶の「挨」には心を開くという意味が、「拶」には心に寄り添うという意味があるそうです。実際に挨拶を交わしていると、**心通わせる**ための最初のきっかけが挨拶だったということはよくあります。

今日の始業式で、その「**挨拶**」について話をしました。その中で、「挨拶はそれぞれに意味があってどれも素晴らしいのですが、最強の挨拶は**『ありがとう**』だと思います。」と話しました。また、「どれだけ『ありがとう』が響き合っているかで、その学級や学校の良さがわかります。」とも話しました。**感謝**の気持ちを伝えたくなるような**思いやり**のある行動が、その集団の中で行われているからです。また続けて、「**言葉の木**」の話をしました。「この『言葉の木』はみんなの心の



中にあって、よく使う言葉は大きく育ち、使わない言葉は枯れていきます。みんなの心には今、どんな言葉が育っていますか?」という問いかけを、1学期の終業式でしていました。日頃の生活で使っている言葉を振り返り、周りの人と仲良く生活していくための言葉を心の中で育てていこうと呼びかけました。是非ご家庭でも、お子さんの言葉遣いについて一緒に振り返っていただき、褒めたり励ま

したりしていただきたいと思います。2学期も「**挨拶**」と「**優しい言葉遣い**」で、ハッピーサイクルが回る学校にしていきたいと思います。

☞ まだまだ暑い!熱中症対策を引き続きよろしくお願いします!

暦の上では秋ですが、ここ数年、9月に秋を感じることが少なくなってきたように思います。佐賀地方気象台によりますと、今週も最高気温は33~34℃くらいで推移し、熱中症予防情報サイトでも「暑さ指数:危険」が予想されています。引き続き、暑さ対策として、①十分な睡眠、②朝ご飯、③多めのお茶、④帽子の着用、⑤汗拭き用タオル・ハンカチをお願いします。なお、マスク着用については、熱中症のリスクが高まるという指摘もありますので注意が必要です。また、シャツをズボンやスカートに入れることで体に熱がこもりやすくなるので、シャツアウトできる服装もご検討ください。体育時についても、暑い季節にはシャツアウトを基本にしていきたいと思います。